

山形市の風景と魅力を体験できる、魅力発信施設
「山並み産直センター」

奥羽山脈の山並みをイメージした魅力発信施設とし、山形の自然・文化・伝統・暮らしを紹介、発信、体験し、山形の魅力を味わえる施設とします。

(1) 建築規模

木造一部2階建て 用途：店舗
1階面積 582.97㎡(下屋含む)
2階面積 92.75㎡
延床面積 675.72㎡

(2) 施設条件を加味したコンセプト

■配置計画について

南北方向に屈曲した建物を配置し、敷地西側に車両入口、東側に出口を設けます。歩行者のアプローチは北側・東側からの歩車分離した安全なアプローチとします。建物を屈曲させることにより出来るスペースを、利用者の屋外広場とします。敷地北西部に施設建植サインを併用した、芋煮会の大鍋を移設設置し魅力発信施設のシンボルとします。イベント時には建物前面の駐車スペースをイベント広場として利用可能な計画とします。

■平面計画について

平面計画として3つのエリア(8間×6間)をずらした無柱の大きな一体空間計とします。中央エリアは、メインアプローチを西側とし、事務室・倉庫・トイレを配置します。また、中央エントランスホールを設け地域の魅力を発信するスペースを確保します。東側には馬見ヶ崎川へのアプローチを確保した計画としています。北側エリアは農産物直売所。南側エリアは1階に物販、2階に喫茶コーナーを計画し奥羽山脈の眺望に配慮した計画とします。

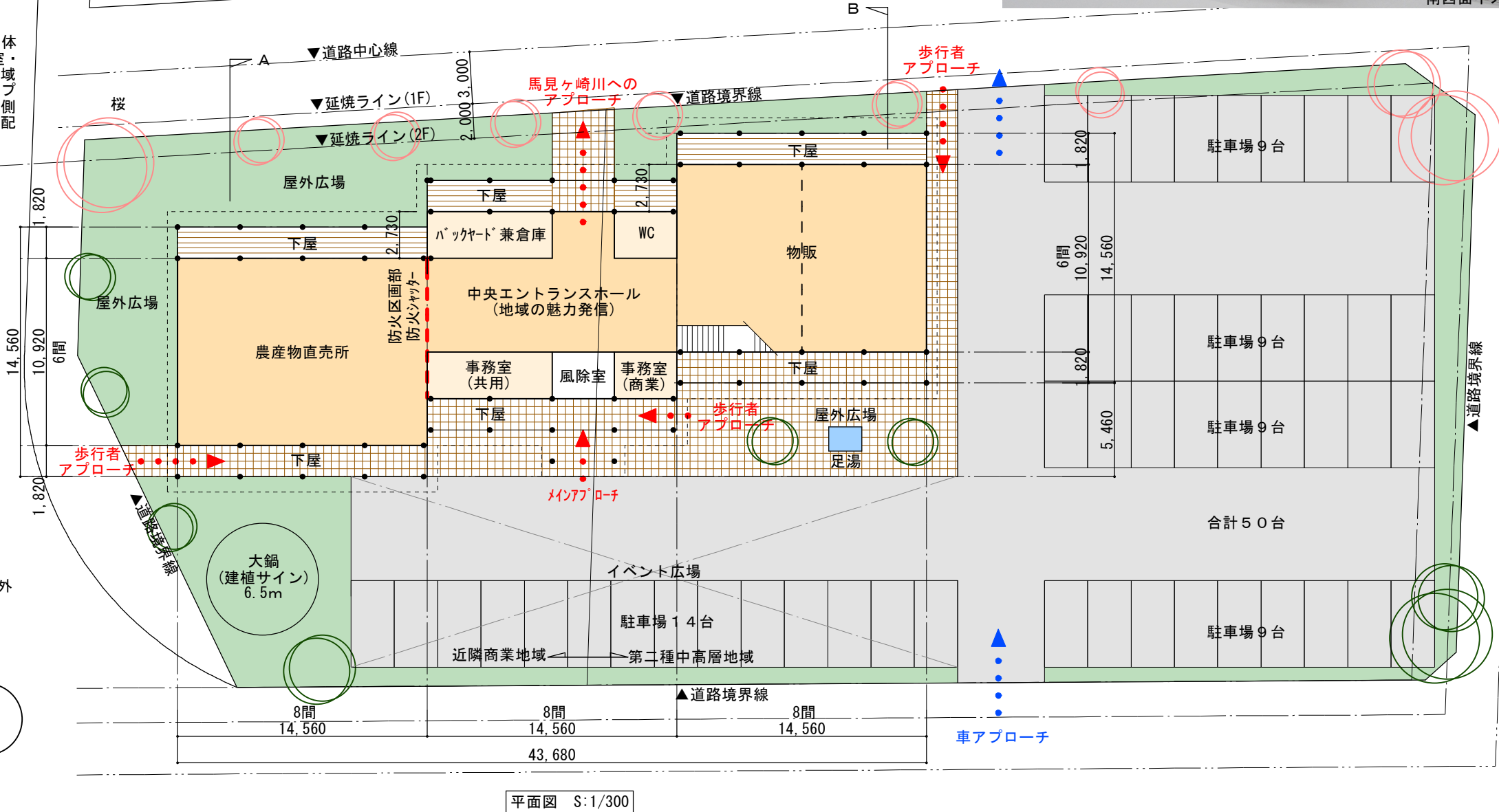
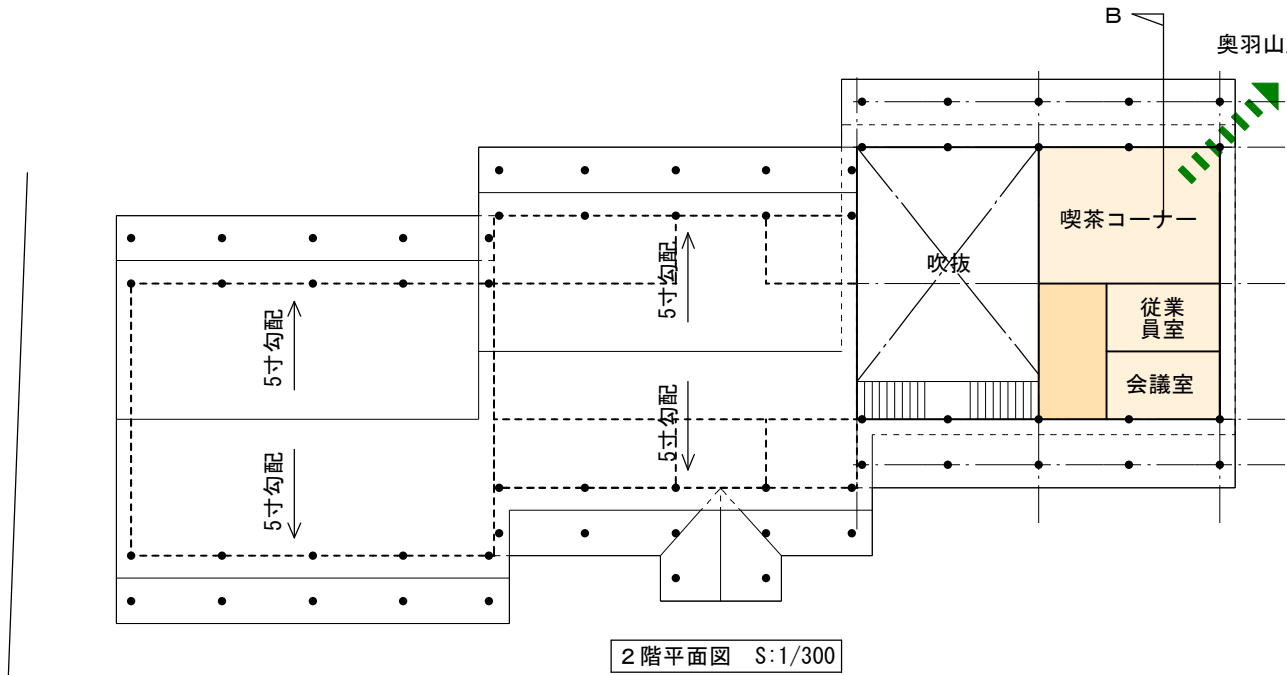
■山形市の魅力発信について

- ・自然：美しい景色のスポット設置2階喫茶コーナーで奥羽山脈・桜街道の眺望
- ・文化：食文化芋煮会の体験等：河原での芋煮会拠点(貸出鍋・食材)日本一の芋煮会の釜展示(インスタ映え)
- ・伝統：花笠踊り・こけし・山形建具：こけし展示・山形建具を使用山家焼き：焼き物体験
- ・暮らし：日本一のラーメン消費市：喫茶コーナーで提供温泉体験とし足湯設置

以上の魅力を発信できる拠点施設とします。

(3) 準防火地域：防火上の建築物の対応

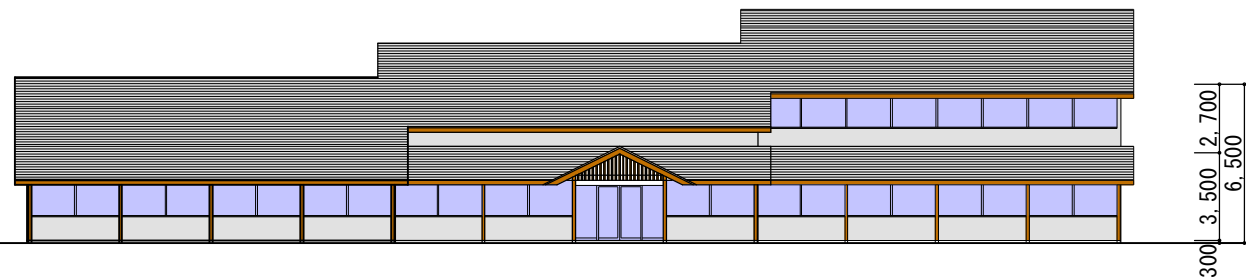
- ・準耐火建築物 ロ準耐-1(外壁耐火)
- ・外壁仕様 室内側：(t21+t21)強化GB下地屋外側：(t21+t21)防水防かびGB下地+t30焼杉(日本木造住宅産業協会認定)
- ・屋根仕様 t12構造用合板下地+t25フェノールフォーム保温板+アスファルトフリンク940+t1.27MSP押し形材横葺き
- ・延焼の恐れ 制限範囲外
- ・内装制限 準耐火建築物で2階部分床面積500㎡以下のため対象外
- ・防火区画 500㎡区画



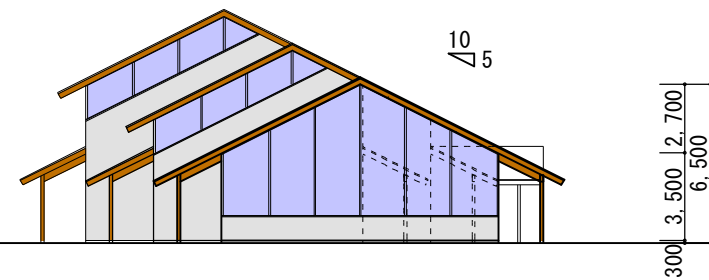
(4) 立面計画について

奥羽山脈の山並みをイメージした屋根形状とします。また、下屋を設置し屋外イベントの活用や休憩スペース確保、冬場の安全なアプローチ確保します。

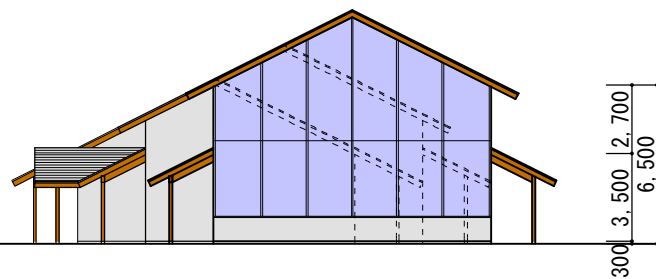
屋根材は耐候性、融雪性を考慮したアルミ材とし、5寸勾配の屋根とし一部雪止めを設置します。妻側は開放的なサッシを設け、開放的な明るい内部空間とし、賑わいも外部からわかる計画とします。



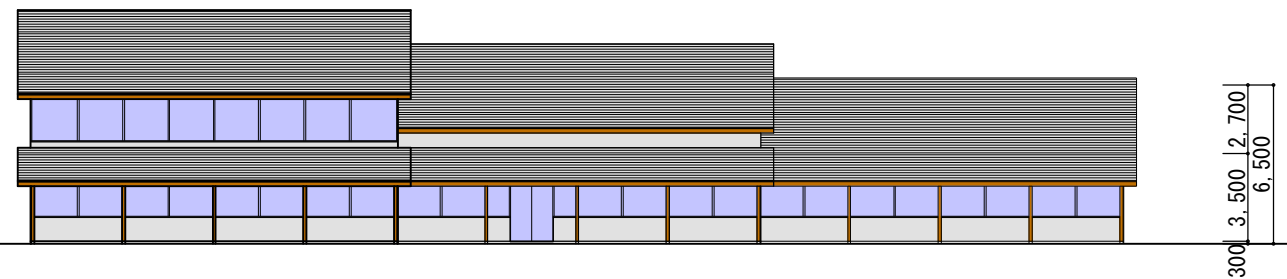
西側立面図 S:1/300



北側立面図 S:1/300



南側立面図 S:1/300

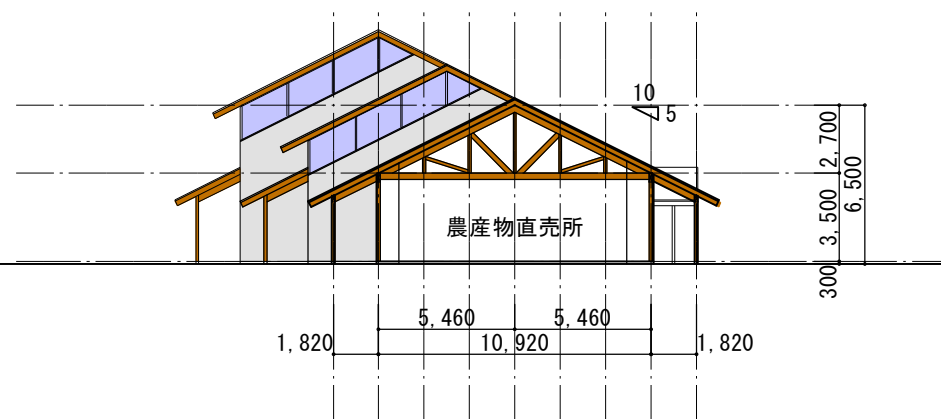


東側立面図 S:1/300

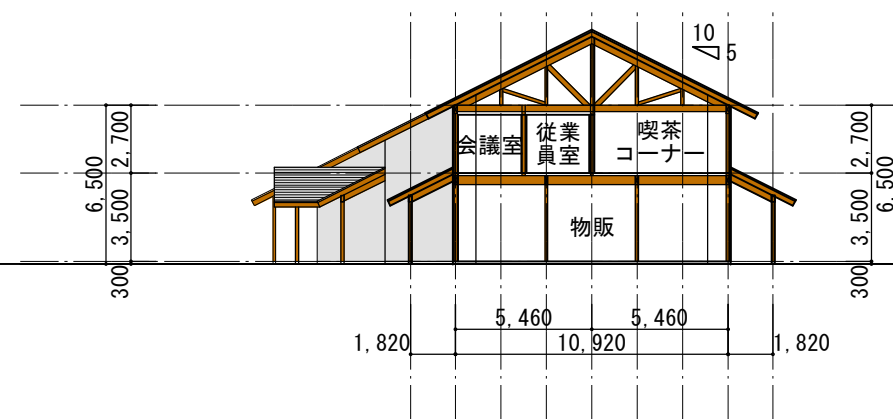
(5) 断面計画について

木材は県内で入手可能な製材のみとし、製作可能な範囲の幅、せい、長さで計画しました。大断面トラスは一般流通材のキングポストトラス等を検討し、グループ内で3案をを作成しました。

内部仕上は木質化とし、建具も山形建具や装飾は山形組子を取り入れた計画としました。



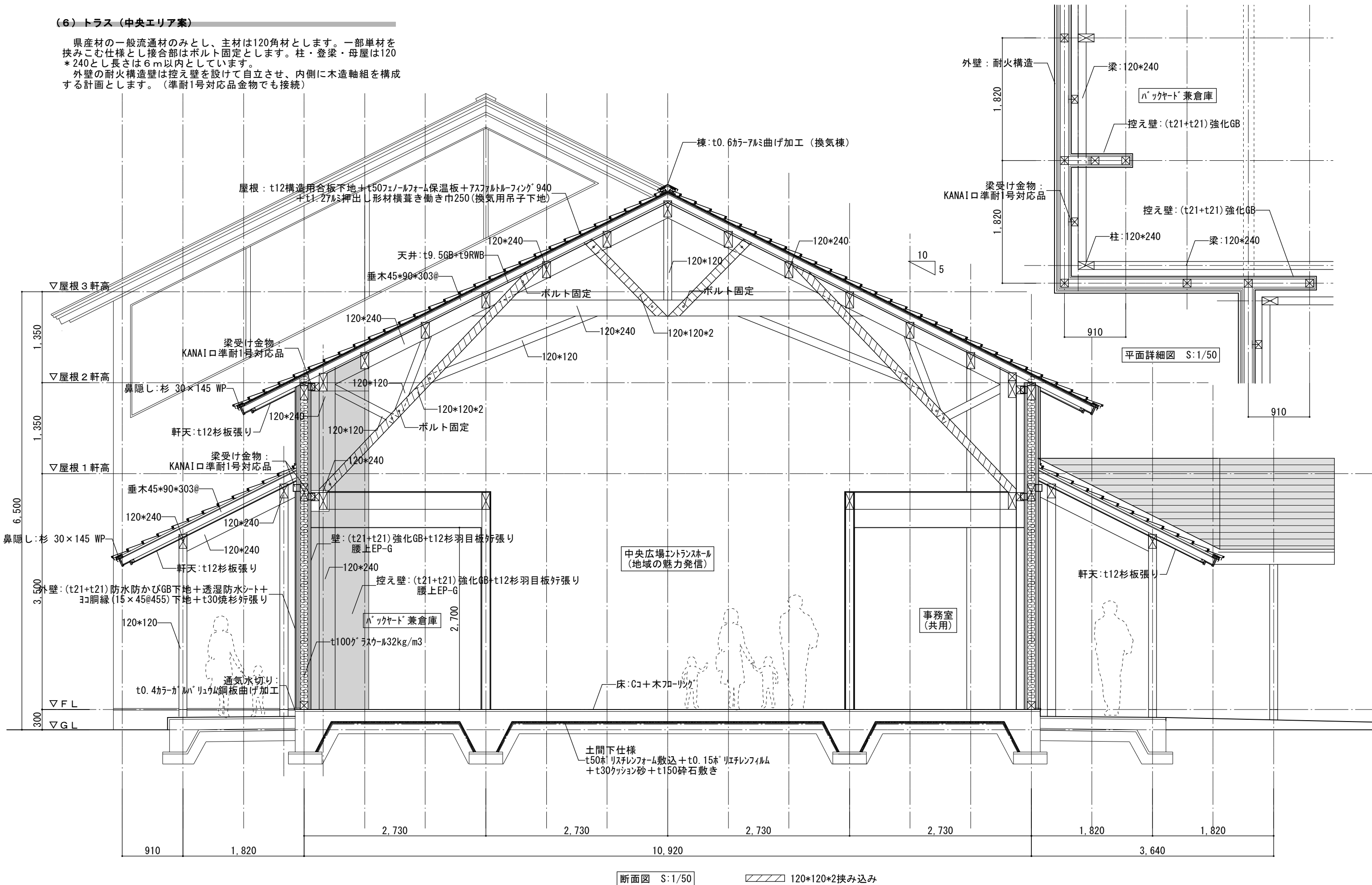
A-A断面図 S:1/300

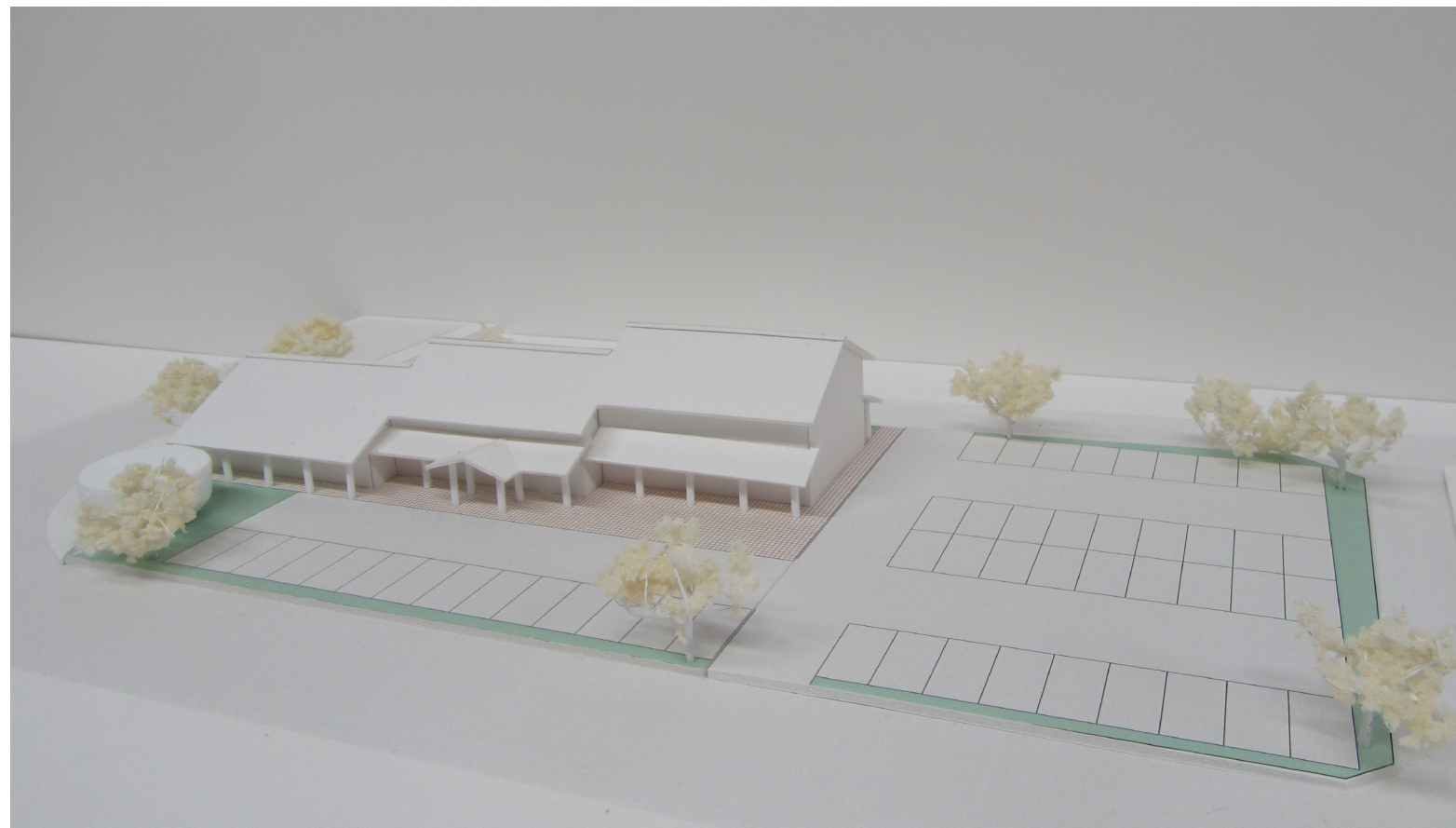


B-B断面図 S:1/300

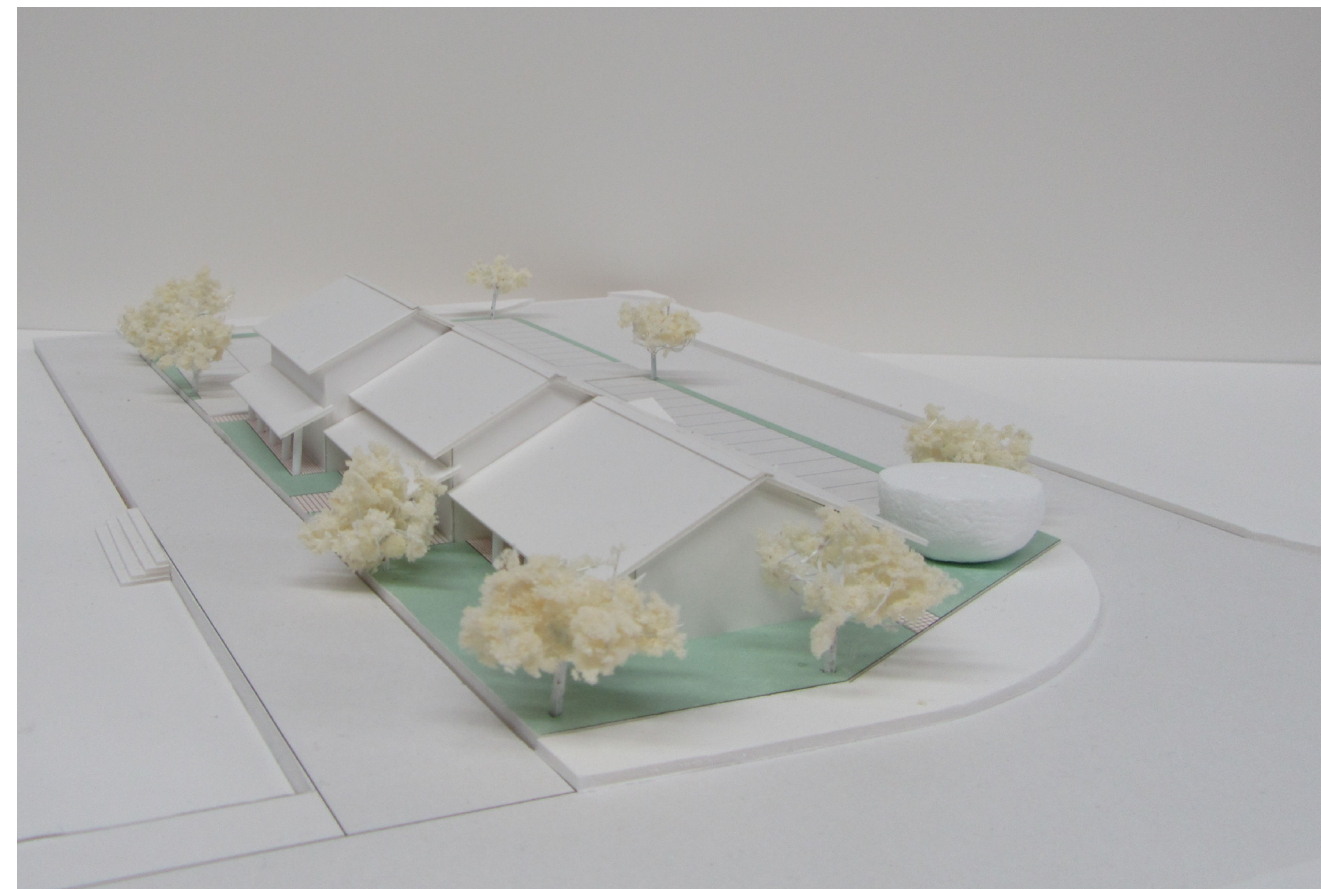
(6) トラス (中央エリア案)

県産材の一般流通材のみとし、主材は120角材とします。一部単材を挟みこむ仕様とし接合部はボルト固定とします。柱・登梁・母屋は120*240とし長さは6m以内としています。
外壁の耐火構造壁は控え壁を設けて自立させ、内側に木造軸組を構成する計画とします。(準耐1号対応品金物でも接続)





西側イメージ模型



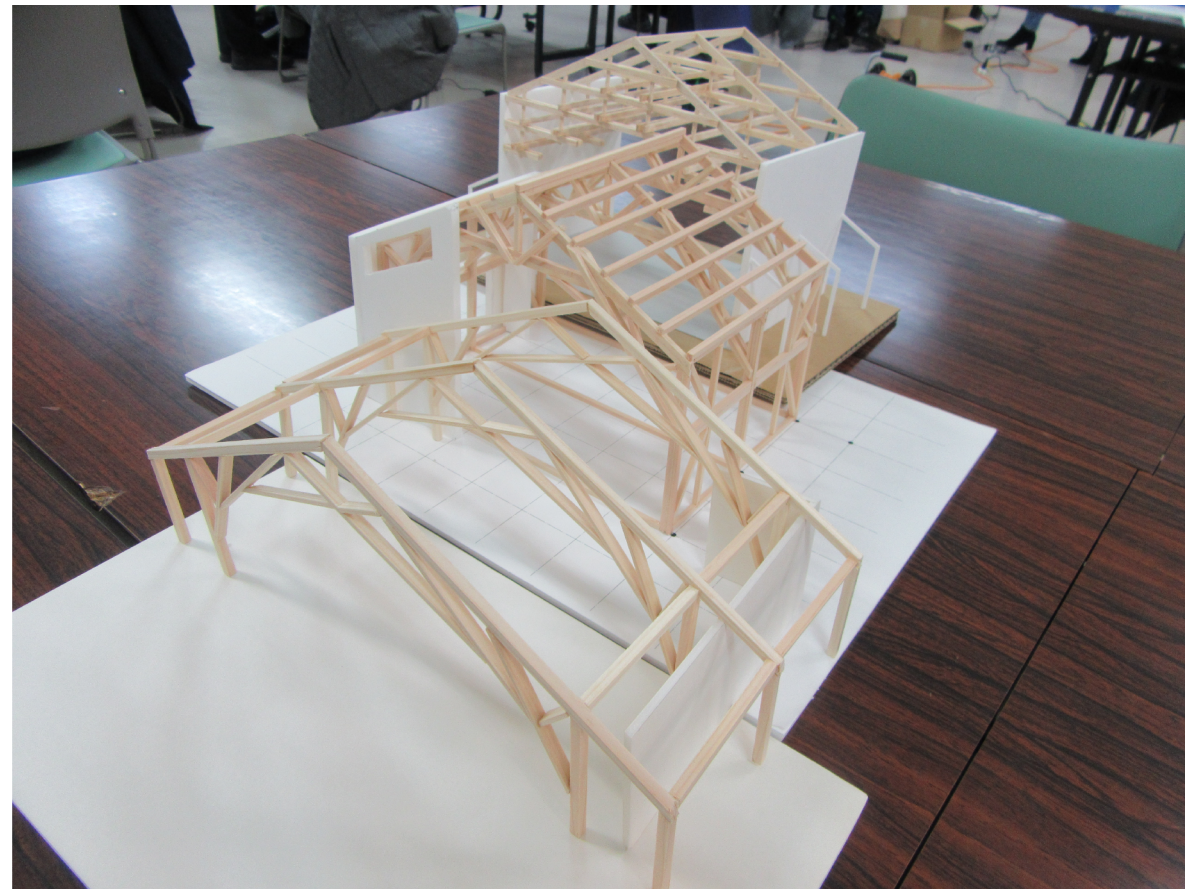
北側イメージ模型



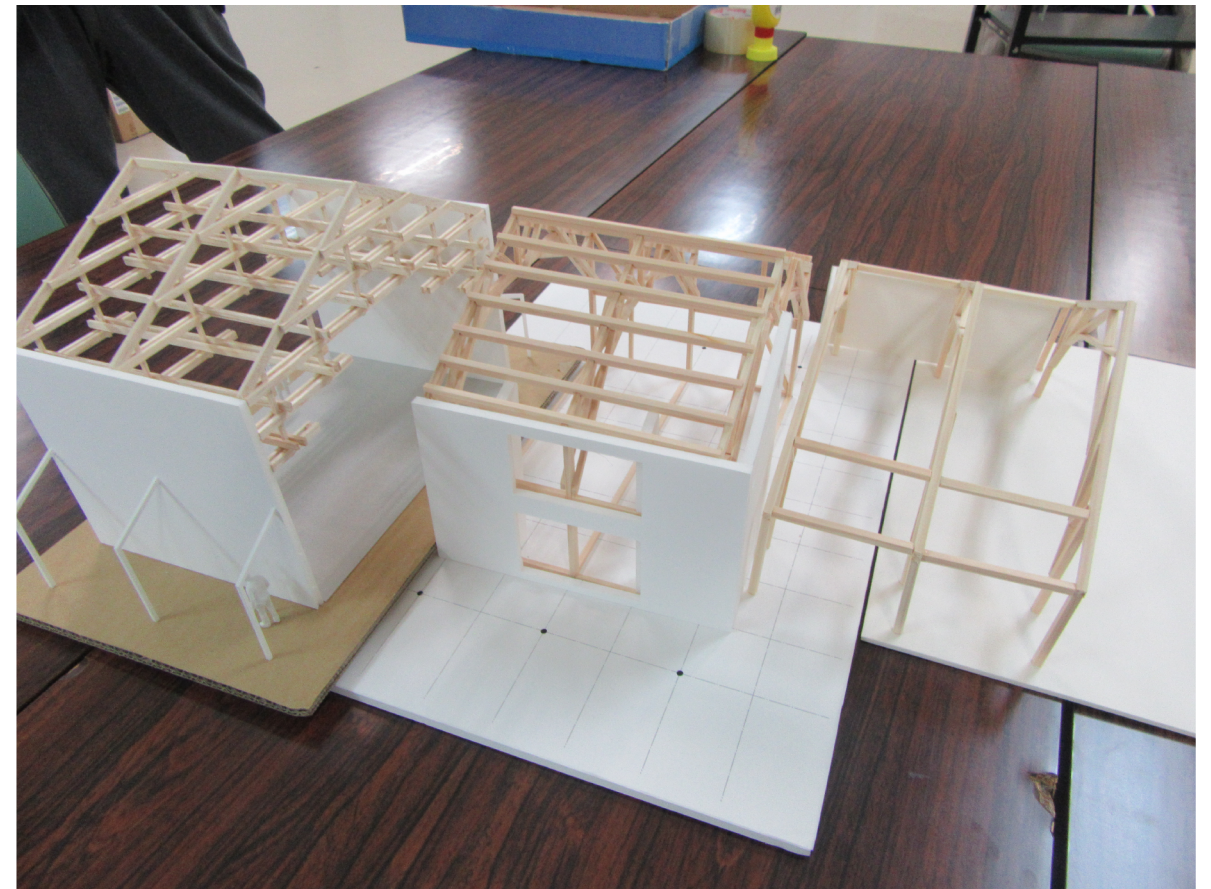
北西側イメージ模型



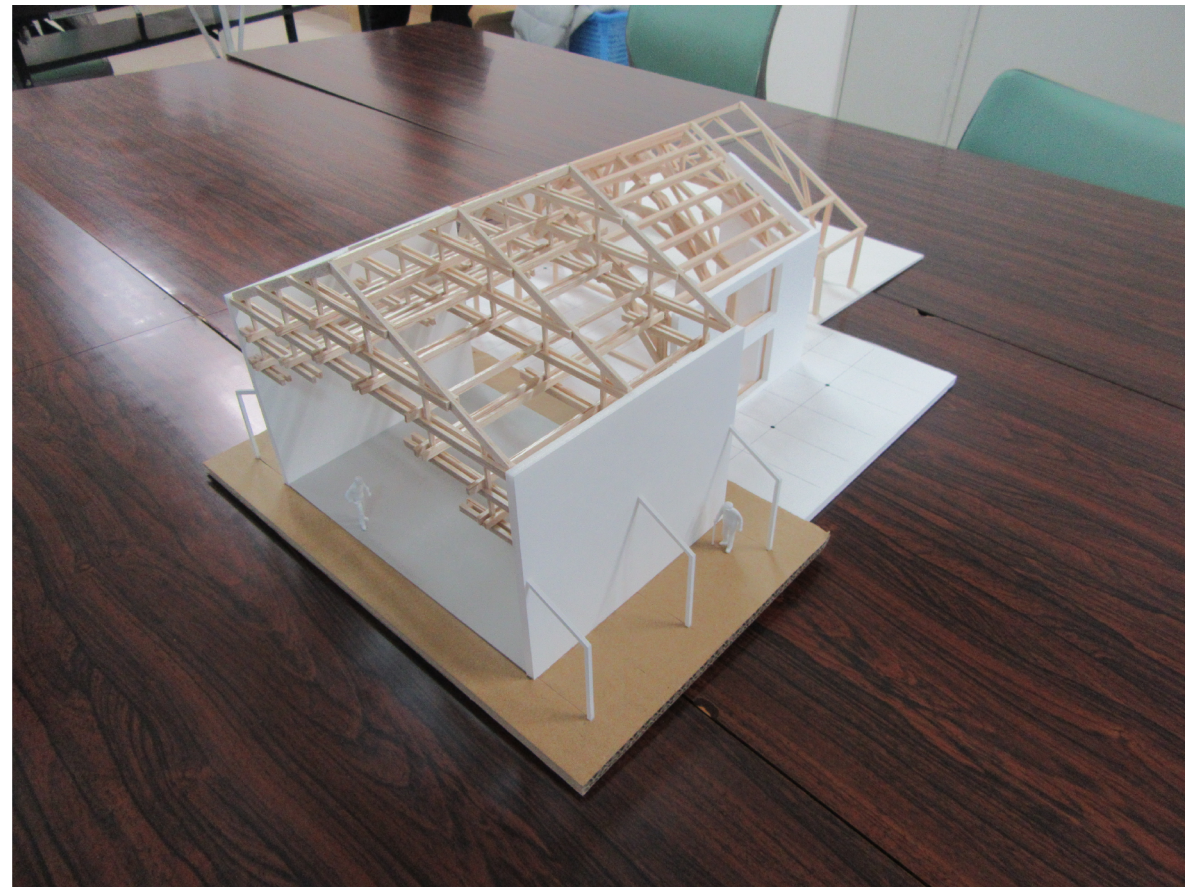
南東側イメージ模型



軸組模型－1



軸組模型－2



軸組模型－3



軸組模型－4

各エリアごと2間×6間のトラスで作成